

【応募要項】

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2017

— 全国の高校生が考える、日本の未来、世界の未来 —

一般財団法人 教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2017年10月に、「ジャパン未来リーダーズサミット2017」を開催します。本サミットは、日本全国から、広い視野を持ち、他者に想いを馳せることのできる共感力ある人材を輩出するという趣旨の下に開催されます。特に、様々な事情により社会経済的な事情で機会を得ることが難しい状況にある学生を対象とし、日常とは異なる気づきと発見を経て、より広い視野から自分の社会における役割を考える機会の提供を目的としています。

2泊3日のプログラムを通し、参加者たちはそれまでの人生の体験を共有し、また、様々な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、社会に存在する課題について検証し、日本の未来について、世界の未来についてグループ毎に提言をまとめます。その提言は、最終日に、政治・行政・ビジネス・メディア・NGOなど各方面のリーダーたちの前で参加高校生自らによって発表されます。また、対話形式のプログラムの中では、幅広い領域で活躍する第一人者の方々を招いて将来のビジョンについて考える機会も提供します。

また、当財団では、高校卒業後の進学に際しての返済不要の奨学金給付（2017年度実績：年間72万円）を行っており、その応募ガイダンスをサミット期間中に行います。ぜひ、将来にむけて視野を広げ、また、進学のための奨学金についての情報を得る機会としていただけたら幸いです。

【主催】一般財団法人教育支援グローバル基金

【後援】文部科学省

【実施場所・時期】

- 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）
- 時期：2017年10月7日（土）～9日（月・祝日）
- 集合場所：10月7日（土） 午後東京集合（事前に交通経路を相談の上、飛行機／新幹線／特急／バス／船切符を送付します）

※ 復路は10月9日（月・祝日）14時～15時頃東京解散予定。東京発の切符を受け取り、各自で帰宅。

【費用】

- 無料（往復交通費・宿泊費・食費・活動に関わる費用を主催者が規程に基づき負担します。交通費は、規程に基づき自宅最寄りの指定駅／空港／港～会場往復分交通費を主催者が負担します）

【プログラムスケジュール】

- | | |
|-------------|---|
| 10月7日（土） | 集合（東京）・オリエンテーション・グループ分け・アイスブレイキング・体験共有など |
| 10月8日（日） | 各界第一人者との対話セッション・ディスカッション・提言プレゼンテーション作成・ディナーパーティー・キャリアセッション・奨学金応募ガイダンスなど |
| 10月9日（月・祝日） | 閉会式・提言発表会・フェアウェルランチなど・14時～15時頃東京駅解散予定（各自で帰宅。引率なし） |

【募集対象者】

募集人数：約 40 名

【応募資格】

以下の条件を満たす者。

- ① プログラムに参加する時点で高等学校、高専またはそれに準ずる学校に在籍する者（5年制の高専などに通う方は、1年生～3年生が対象となります）。
- ② 下記のいずれかに該当すること。
 - 保護者が死亡している
 - 単親家庭（母子家庭・父子家庭）に暮らしている
 - 児童養護施設に暮らしている
 - 里親家庭に暮らしている
 - 生活保護受給世帯に暮らしている
- ③ 10月7日～9日のプログラム全日程に参加できること。

【応募方法】

応募書類（別紙）に記入の上、2017年8月16日（水）までの消印有効にて、下記送付先まで郵送のこと（切り取って郵送先のラベルとして使用できます）。

※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。

※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷 1-12-13
渋谷郵便局留
一般財団法人教育支援グローバル基金
ビヨンドトゥモロージャパン未来リーダーズサミット2017 係行
(渋谷区神南 1-5-7 4F ETIC. 内)
※宅急便で送付すると届きませんのでご注意ください。

※提出頂いた情報は、ビヨンドトゥモローから、ビヨンドトゥモローのプログラムの運営および各種の取り組みのご案内のために使用されます。この目的の適正な範囲内において、いただいた情報は、委託先に必要に応じて提供されることがあります。

例年、間違った住所や番号への送付、締切後の到着、応募用紙の必要事項の記入漏れなどの理由により、受理できない事例が多数発生しています。必ず提出方法を確認の上、正しい方法で期日までに提出してください。受理されたかどうかの確認、受理できなかった理由についてのお問い合わせは一切受け付けておりません。合否結果は、合格者にのみ、応募用紙に記載の住所の本人宛てに郵送します。

【合格通知について】

2017年8月末日までに、合格者のみに通知いたします。合格者本人宛てに通知を送付します。

【問い合わせ先】

電子メール：info@beyond-tomorrow.org ファックス 03-6745-9100 電話：03-5453-8030

ウェブサイト：<http://beyond-tomorrow.org>

よくあるご質問 (FAQ)

Q 奨学金プログラムはどのような内容なのでしょうか。

A 2017年度には、高校卒業後の大学・短大・専門学校進学の際に、年間72万円の返済不要の奨学金を支給している他、児童養護施設に暮らす方については、センター試験受験料や入学検定料など受験費用のための返済不要の奨学金を10万円を上限に支給しています。2018年度の募集内容は、2017年10月以降に発表予定です。詳細は、当財団ウェブサイトをご覧ください (<http://beyond-tomorrow.org>)。

Q サミットに参加しないと、奨学金はもらえないのですか。

A サミットへの参加と、奨学金の選考は、全く別に行っており、サミットへの参加の有無が、奨学金の合否に直接影響することはありません。しかし、サミット期間中に、奨学金プログラムの応募ガイダンスを行いますので、奨学金プログラムに興味のある方は、参加されることをお勧めしています。これまでも、サミット参加者の多くが、奨学金プログラムに合格しています。

Q 遠方に住んでおり、指定の時間までに東京に到着できないのですが、応募できますか。

A 遠方に住んでいる方は、個別に交通経路についてご相談させていただきますので、奮ってご応募ください。

Q 応募は、学校単位ですか。一校あたりの応募数に制限はありますか。

A 応募は、学校でとりまとめていただいても、ご本人が個別に送っていただいても構いません。ただし、合格通知は、学校ではなく、ご本人に送付します。一校あたりの応募者数に制限はありません。

ビヨンドトゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“愛媛県で農業を営む島に育ち、なぜ島は豊かにならないのだろうと考える中で、経済学を学びたいと思うようになりました”

- 大山 貴史 愛媛県立松山北高等学校中島分校卒業 (山口大学経済学部在学中)

愛媛県の離島のみかん農家に生まれた。小学生の時に父が自殺して以来、日本語が不自由な母を支え、新聞配達をしながら勉強と部活を両立させてきた。島という限られた空間に暮らし、世界を見渡すことができないと感じたことから、高校生の時にビヨンドトゥモローに参加し、仲間と出会い、人生の転換点になった。2017年は、1年間大学を休学し、母の祖国であるフィリピンに渡り、英語学校運営補助のインターンシップに従事している。将来は、食品に関する仕事で、愛媛の特産物を活用し、地域活性化に貢献することが夢。



“私のこれまでの経験が、ビヨンドトゥモローでなら活かせると考えました”

- 荒川 未菜子 長野県上田高等学校

7歳の時から児童養護施設に暮らす。高校1年生の時からビヨンドトゥモローに参加し、人生の中で最も濃い1年になった。一緒にいられる時間は短くても、普段は話せないような話をできる人たちとの出会いがあり、自分は変わることができたと思う。周りの大人に支えられ、充実した生活を送り、大きく成長させてもらった経験から、将来は、日本だけでなく海外においても、貧困の中にあたり社会的養護を必要とする人々のエンパワーメントに携わりたい。その夢のためにも、大学で国際関係学や社会開発を学ぶことを希望しており、現在、ビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加しながら、大学進学を目指している。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、東日本大震災を機に設立された財団法人です。「ビヨンドトゥモロー」は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業として、奨学金支給および人材育成プログラムの運営を行っています。東日本大震災直後から、「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行ってきました。設立以来、東北地方の高校生・大学生を対象に活動を展開してきましたが、2015年秋より、対象領域を全国に展開しています。

| | | |
|--------|--|--|
| 理事 | 橋本 大二郎（理事長） 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟 | 元高知県知事 楽天株式会社 取締役常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 モルガン・ルイス&バッキアス法律事務所 弁護士 |
| 評議員 | 木山 啓子 宮城 治男 山崎 直子 | 特定非営利活動法人ジェン（JEN） 共同代表理事 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士 |
| アドバイザー | 阿川 尚之 竹中 平蔵 | 慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授 |
| 監事 | 江崎 滋恒 | アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 |

【設立年月日】

2011年6月

【ウェブサイト】

<http://beyond-tomorrow.org>

【所在地】

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-5-7 APPLE OHMI ビル 4階 ETIC. 内

【電話】

03-5453-8030

【メール】

info@beyond-tomorrow.org

【FAX】

03-6745-9100